

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		中国四国農政局		中国電力		倉敷市		笠岡市		井原市		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
1)ハード対策の主な取り組み																				
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																				
		・浸透対策 ・流下能力対策	実施状況	浸透対策、流下能力対策を実施中	R2年度															
		・堤防や拡幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所 の速やかな修繕	実施状況					広域河川改修事業21河川、総合流域防災事業2河川をはじめ、県単独事業においても堤防や河道拡幅等の整備を実施 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施 堤防点検等を実施し、緊急の修繕が箇所の対策を実施	発災後から 随時 (主には非 出水期)											
			今後の予定					現在の取り組みを継続	継続実施											
■危機管理型ハード対策																				
		・天端の保護 ・堤防表法尻の補強	実施状況	整備済	R2年度			優先順位の高い河川の合流点等において天端補強を実施	R2年度											
			今後の予定	整備済	整備済			優先順位の高い河川の合流点等において天端補強を実施	～R3年度											
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
		・雨量・水位等の観測データ・ダムの前放流情報及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	事務所HP公開ライブカメラ(71箇所)整備済	整備済			危機管理型水位計等の増設(97基) 令和元年度までに78基、令和2年に19基増設(増設中) (吉井川水系 30基、旭川水系 12基、高梁川水系 19基、その他 36基)	～R2年度					国、県が設置したカメラ映像や水位計の観測データを「倉敷防災ポータル」を通じて市民に提供する	R2～					
			今後の予定	整備済	整備済			令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開予定	R3年度(予定)					継続実施	継続実施					
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況											拡声塔からの放送が聞こえにくい自主防災組織に緊急告知FMラジオを貸与 防災FMラジオの難聴地域に中継局設置	R1年度～ R2年度	・同報系デジタル防災無線設置 ・笠岡市緊急情報配信サービス整備 ・緊急告知FMラジオを自主防災組織等を中心に955台配布	R2年度	IP無線について再検討	R1年度～	
			今後の予定											継続実施	継続実施	緊急告知FMラジオを自主防災組織等を中心に配布予定	継続実施	IP無線の導入台数・運用方法を再検討	R3年度	
		・重要水防箇所の見直し	実施状況					令和元年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(破堤箇所及び一連区間、漏水箇所、陸岸等の追加) 令和2年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸岸の適正化に伴う廃止等)	～R2年度											
			今後の予定					GISを活用した情報高度化の運用開始 令和3年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸岸の適正化に伴う廃止等)	R3年度～											
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	保有する水防資機材の状況を平時管理し、必要に応じて補充	R2年度			定期的な各水防倉庫における水防資機材の備蓄状況を確認し、不足等が生じれば適宜補充を行っている	H29年度～					各支所、消防署所、防災倉庫に土のう、スコップ、ジョレン等の水防資機材を備蓄	継続実施	土のう袋、ブルーシート、スコップ、ロープ等を備蓄	R2年度	市内各小学校に土のう用真砂土を配備、消防団に土のう袋を配布 災害に備えた土のう袋の配布 水防倉庫建替え2件 各水防倉庫へ資材の配備	H30年度～ R1年度～ R2年度	
			今後の予定	継続実施	継続実施			現在の取り組みを継続	継続実施					継続した備蓄品の確保	継続実施	継続実施	継続実施	市内各小学校に土のう用真砂土を補充 水防資材の補充 水防倉庫建替え	R3年度 R3年度～	
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するための、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)設置済	～R元年度			危機管理型水位計等の増設(97基) 令和元年度までに78基、令和2年に19基増設(増設中)。(吉井川水系 30基、旭川水系 12基、高梁川水系 19基、その他 36基) ＜量水標＞ 水位計に合わせて設置 ＜河川監視カメラの増設(67基)＞ 令和元年度までに41基、令和2年に26基増設(増設中) (吉井川水系 18基、旭川水系 19基、高梁川水系 14基、その他 16基)	～R2年度											
			今後の予定	整備済	整備済			＜水位計+カメラ＞ 令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開する予定	R3年度(予定)											
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討、治水ダムの治水活用)	実施状況	令和2年5月29日治水協定を締結済	R2年度			操作規則等の点検を実施	～R1年度	出水期まで治水協定を締結(5/29)	R2年度	ダム部会を設置	R1年度 (R2.1.31)							
			今後の予定	引き続き洪水調節機能の強化に向けた取組を推進	R3年度～			操作規則等の変更	R3年度(予定)	ダムの前放流等の実施	継続実施	治水協定を締結	R2年度 (R2.5.29)							
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況					操作実施者の負担軽減や緊急時の迅速かつ確実なゲート開閉等を目的とし、無動力化(フラップゲート化)を実施	R2年度											
			今後の予定					今後も樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保のため、関係機関との連携を図る	R3年度～											
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況					先行事例の情報収集等	～R2年度											
			今後の予定					引き続き、先行事例の情報収集・研究に努める	R3年度～											
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況					過去の被災状況、流下能力、土地利用状況などを見ながら、緊急性や必要性の高い箇所から推進 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施	発災後から 随時 (主には非 出水期)									小田川沿い4箇所に排水ポンプ整備 可搬式排水ポンプ2基購入	H29年度～ H30年度	
			今後の予定					現在の取り組みを継続	継続実施									排水ポンプ新設3件、既設排水ポンプの増強1箇所	R3年度完成予定	

項目	事項	内容	状況	総社市		高梁市		新見市		浅口市		早島町		里庄町		矢掛町		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
1)ハード対策の主な取り組み																		
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																		
		・浸透対策 ・流下能力対策	実施状況															
		・堤防や幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況															
			今後の予定															
■危機管理型ハード対策																		
		・天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	実施状況															
			今後の予定															
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																		
		・雨量・水位等の観測データ・ダムの上流放流情報及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況															
			今後の予定															
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況	防災ラジオを配布	H29年度～	H29年度から貸与開始、R1年度全地域貸与	～R2年度		(防災ラジオ) ・H24年度から貸与をはじめ、新設した自主防災組織に随時配布している (防災行政無線) ・情報伝達システム導入の詳細設計	H24年度～ ～R3年度	屋外スピーカーからの放送が聞こえにくい地域にスピーカーを増設	H30年度	災害情報伝達手段整備事業として、希望する全世帯に戸別受信機の無料設置、スマホアプリ及び有線系拡声機の整備中	R2年度	貸与説明会の実施、戸別訪問等により、貸与を進めた広報紙等を通じたアプリの導入促進を行った(R3年度以降も継続実施)	R2年度		
			今後の予定	予定なし ※新規自主防災組織が組織された場合には配布	予定なし	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	-	(防災ラジオ) R2年度以降も継続して貸与する予定 (防災行政無線) 既存設備の更新、システム導入	継続実施 ～R4年度	R3年度実施予定	R3年度	令和3年度から本格稼働	R3年度	広報紙掲載、貸与説明会の実施、戸別訪問等により、貸与促進に努める	R3年度			
		・重要水防箇所の見直し	実施状況															
			今後の予定															
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	救助ボート(船外機付)、ライフジャケット、保安帽、胴付長靴等配備済み	R1年度	ライフジャケット、雨具等配備	R2年度	資機材の確認・確保を実施	継続	実施済み	H28年度	避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	H30年度～	随時実施	R1年度	消防団に対する水防資機材等及び備蓄倉庫への水防資機材の配備を行った	R2年度	
			今後の予定	H30年7月豪雨で使用した資機材等充た及び追加整備 ○備蓄品の選定、保管場所の確保	R3年度	不足資材(雨具)購入	R3年度	資機材の確認及び不足する資機材を確保	継続実施	R2年度以降も継続して実施予定 ○避難所の必要物資の見直し	継続実施	R3年度以降も継続して実施予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況			河川監視カメラを8か所に設置、CATVで放送・市HPで画像配信 河川監視カメラ4か所増設	R1年度 R2年度	R2年度 河川監視カメラの増設・更新 4か所→8か所 CATV、市HPで公開中	継続									
			今後の予定			ダムカメラ3か所設置	R3年度	継続して公開	継続実施									
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討、利水ダムの治水活用)	実施状況															
			今後の予定															
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況															
			今後の予定															
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況															
			今後の予定															
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況	排水ポンプ設置(2箇所) 可搬式排水ポンプ4台導入	R2年度	可搬式排水ポンプ2台導入	R1年度						町内全域の浸水被害の軽減を図るために、新たに樋門を整備	R1年度				
			今後の予定	予定なし	予定なし	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	-						老朽化した排水機場の施設や設備等の更新	R3年度～				

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		中国四国農政局		中国電力		倉敷市		笠岡市		井原市				
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期			
2)ソフト対策の主な取り組み	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	水防災に関する講習会や出前講座を複数回実施	令和2年度	関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を実施	H29年度～						出前講座を45回実施(R2年度)	継続実施	出前講座190回実施(H29～令和2年度)	R2年度	出前講座を実施	H29年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、出前講座等を活用し、防災知識の普及啓発活動を実施する	継続実施							継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度	
		・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	実施状況	マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」を作成済	R元年度											逃げキッドを市内全小中学校に配布	R2年度					
			今後の予定	意識醸成につなげるため、講習会等を実施	継続実施											出前講座等で普及を図っていく	継続実施					
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	小学生を対象とした防災教育を1校で実施	R2年度	教育委員会等と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	小学校の低・中・高学年それぞれの発達段階に合わせた「防災ワークシート」を作成して県内小中学校に配布し防災教育の促進に努めた	R1年度							教員を対象とした講習会の実施、小学生(3年生、5年生)を対象とした防災教育の実施	R2年度～	市内小中学生に防災ガイドブックを配布	R1年度	児童対象出前講座5回、教員対象の研修会開催(令和元年度)教員を対象に避難所開設のタイミング、開設協力の説明会を開催	R1年度	R2年度
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災ワークシートの電子データ化を検討する。	継続実施							継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度	
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況	マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」を作成済	R元年度																	
			今後の予定	継続実施	R3年度～																	
		・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	スマートフォン等によるプッシュ型洪水情報発信の実施	R2年度	登録制防災情報メールで、気象情報や水位情報、指定河川洪水予報を発信	R1年度									防災アプリ、防災メール等によるプッシュ型の情報発信	R1年度～	災害時に防災メール、緊急通報メール等プッシュ型の情報伝達を実施済	R2年度	登録制メール、緊急通報メール実施済み	H29年度～	
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災情報メールや防災アプリの登録者数を増やす取組を引き続き実施する	～R2年度							情報発信ツールの多様化	継続実施	防災メールの普及啓発	R3年度	一斉情報配信システムの導入	R3年度	
		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)に情報をリアルタイムで提供中	R2年度			危機管理型水位計等を令和元年度までに78基、令和2年度に19基増設(増設中)河川監視カメラを令和元年度に41基増設、令和2年度に26基増設(増設中)	～R2年度						国、県が設置したカメラ映像や水位計の観測データを「倉敷防災ポータル」を通じて市民に提供する	R2年度～						
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに「川の水位情報」で、水位・河川監視カメラ画像などの情報を提供予定	R3年度(予定)						継続実施	継続実施						
		・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	継続実施	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	H29年度～	HPや広報誌、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告による災害情報の広報・周知を行った令和2年度末までに「もたらそうの防災」の改訂を行い、住民向け広報を強化予定	H30年度～						市HP、広報誌、ポスター等での広報	H30年度～	HPや広報誌、ポスター、チラシ等で災害情報の広報・周知を実施	R2年度	HPや広報誌による周知	H29年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続きあらゆる機会を捉え積極的な広報に努める	R2年度						継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度	
		・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況					地元小学生を対象に工事現場見学会等を実施	R2年度						防災講演会を実施	継続実施	住民参加の風水害特別訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、公的関係機関のみ参加の図上訓練に変更	R2年度	河川氾濫を想定した地区避難訓練を実施(R2年度は、未実施)	H29年度～		
今後の予定						継続的に実施	R3年度～						継続実施	継続実施	未定	R3年度	実施予定	R3年度				
2)ソフト対策の主な取り組み2)氾濫特性に応じた効果的な水防活動																						
2)ソフト対策の主な取り組み3)長期化する浸水を一日も早く解消するための排水計画	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等への連絡体制の再確認、水防団同士の連絡体制の確保と伝達訓練の実施	実施状況	コロナ渦のため、未実施	R2年度									メールを活用した連絡体制の確保	継続実施							
			今後の予定	継続実施	R3年度～										継続実施	継続実施						
		・水防団等が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	実施状況	コロナ渦のため、未実施	R2年度	関係機関等の要請に基づき、水防管理団体が行う訓練を支援	H28年度～								岡山河川事務所が実施する共同点検に参加	継続実施						
			今後の予定	継続実施	R3年度～	未定	R3年度～								継続実施	継続実施						
		・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	実施状況	水防技術講習会を実施	R2年度	関係機関等の要請に基づき、水防管理団体が行う訓練を支援	H29年度～	関係機関の連携による風水害特別防災訓練(図上・実働訓練)および水防技術向上に資する岡山県水防技術講習会を実施した	～R2年度						公設消防との合同訓練の実施	継続実施	新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から令和2年度水防訓練を中止	R2年度	毎年度6月第2週に市総合防災訓練、8～9月に地区避難訓練を実施(R2年度は、未実施)	H29年度～		
			今後の予定	水防演習や各自自治体の訓練に積極的に参加	R3年度～	未定	R3年度～	出水期前に訓練を実施し、風水害に対する応急対応力の向上を図る	継続実施						継続実施	継続実施	年1回実施	R3年度	実施予定	R3年度		
		・水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	実施状況	岡山河川事務所HPに水防団員を募集している旨の記事掲載済	継続実施										市HP、広報誌、ポスター等の掲示	継続実施			HP、ポスター掲示による募集、消防団協力事業所表示制度、消防団応援の庶事書を実施	H29年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施										継続実施	継続実施			継続実施	R3年度		
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	災害拠点病院の洪水対策検討会にオブザーバーとして参加し、技術的助言を行った	R2年度			市町村が適切な災害対応を行えるよう、業務継続計画(BCP)の作成や災害時の受援体制の整備を働きかけた	H29年度～						未実施	未実施						
			今後の予定	引き続き、技術的助言を行う	R3年度～			引き続き業務継続計画(BCP)の作成、受援体制の整備を働きかける	継続実施						市庁舎の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	継続実施						
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	地域の建設業者による水防支援体制構築済	継続実施											建設業協会と協定締結済み	H30年度	建設業協会と協定を締結済	R2年度	建設業協会と協定締結済み	H29年度～	
			今後の予定	継続実施	R3年度～											継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度	
		2)ソフト対策の主な取り組み3)長期化する浸水を一日も早く解消するための排水計画																				
		2)ソフト対策の主な取り組み3)長期化する浸水を一日も早く解消するための排水計画	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	作成した排水計画を被災協で共有し、関係市町に送付済	R2年度	H30.7月豪雨時のポンプ稼働状況について、関係市町村に調査を行い、一部の施設で操作規則が作成された	～R2年度							管理者と市で樋門、水門の情報を共有し、事前排水対策を行う	R2年度			出水期前に水門・排水ポンプの試運転、移動式排水ポンプの試運転地元消防団と水門・排水ポンプの操作に関する合同訓練	H29年度～	
					今後の予定	作成した排水計画を基にした訓練の実施	R3年度～			必要な対策を関係市町村と協議しながら検討を進める	継続実施						継続実施	継続実施			可搬式排水ポンプの合同訓練	R2年度

